

サステナビリティ経営方針

2026年3月

株式会社スターコーポレーション

代表取締役 星野 徹

サステナビリティ経営方針

世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、当社は企業には「持続可能(サステナビリティ)な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。また、近年、SDGsへの関心の高まり等、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

当社事業の意義

当社は薬局の運営を通じて、地域医療を支えています。また、医療機関と連携し医療環境の向上に取り組んでいるほか、セルフメディケーションに資する取り組みも行っており、地域で健康を維持できる環境の整備を進めています。

今回の検討結果

当社の事業は薬を処方するだけでなく、地域の皆さんが健康であることを目指しています。そのため、従来の薬局業務にとらわれず、患者ひとりひとりに合わせた服薬指導や健康指導といったコンサルティング機能を強化する必要があると認識しています。また、その実現のためにはこれまでの業務を見直し、DXを進めることで省人化し、余剰人員をコンサルティング業務に投入いたします。さらには、地域の医療拠点の中心として病院やクリニック、地域包括センターとの連携を先導することも地域医療の発展には不可欠です。その結果、現在取り組んでいるイベント運営も事業として次の柱になることが期待されます。以上から下記の4つをマテリアリティとして選定し、取り組んでまいります。



コンサルティング
機能の強化



DXの高度化



地域の牽引役を
目指す



新領域の成長

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

コンサルティング機能の強化



選定理由

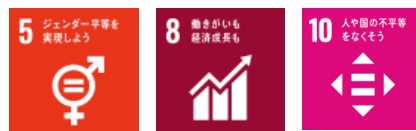
薬剤師を中心に患者ひとりひとりに合わせた提案を行うことで地域の健康維持に繋がることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 患者ひとりひとりの対話時間の確保
- 調剤中の時間を使って健康指導のヒアリングの実施
- コンサルティング人材の確保

取り組み効果

- 顧客満足度の向上
- 人材の確保・定着



KPI(目標と指標)

- かかりつけ患者数の割合を5%に増加させる(2025年1%)
- 新卒採用を毎年1名以上採用する(2024年2名)
- 外部講師を招いた社内研修を継続して開催する(年3回)

マテリアリティ

DXの高度化



選定理由

定例業務の省人化を進めることで患者との対話の時間を増やし、服薬指導や健康指導の高度なサービスを提供するために必要であることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 業務の洗い出し
- 業務のDX化の可否の精査

取り組み効果

- 生産性の向上
- 患者の利便性向上



KPI(目標と指標)

- 定例業務のDX化を進める
- 余剰人員を捻出し、新事業に投入する

サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

地域の牽引役を目指す



選定理由

地域医療の発展のためには医療機関や地域企業との連携が不可欠であり、連携にあたって当社が先導することが求められることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- ・ 託児所設立に向けた事業計画の立案
- ・ 連携医療機関との定期的な対話

取り組み効果

- ・ 対外的信用力の向上
- ・ 収益性向上



マテリアリティ

新領域の成長



選定理由

医療からセルフメディケーションに発展させるためには採算が取れる事業として成長させる必要があることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- ・ 提携先増加のため営業担当者の採用
- ・ イベントごとの採算管理の実施

取り組み効果

- ・ 地域社会との信頼関係の深化
- ・ 従業員の満足度の向上



KPI(目標と指標)

- ・ 2027年までに医療機関と連携した事業を開始する
- ・ 2028年までに連携医療機関数(病院、クリニック)を30先とする(2025年10先)

KPI(目標と指標)

- ・ 2028年までに連携企業先数を5先とする(2025年1先)
- ・ イベント事業について利益目標を設定する